

手話で安心の輪を広げよう



玉野市手話言語条例が平成 29 年 9 月 25 日に施行されて、今年で 3 年を迎えました。この条例は、「手話が言語である」ことへの理解を促進し、手話の普及を図ることで、障害のある人もない人もお互いを尊重し、地域で支え合い、全ての市民がすこやかで安心して暮らせるまちの実現を目指して制定されました。

広報たまのでは、毎月「手話をおぼえよう」コーナーで少しずつ手話をお伝えしていますが、この機会に、基本のあいさつや自己紹介をお伝えしますので、ぜひ覚えて使ってみてください。



玉野市聴覚障害者福祉協会
会長 井下 智貴 さん

皆さんにとっての日本語や英語のように、耳が不自由な人たちにとっては、手話が言語です。「手話が言語である」ことが少しずつ広まってきていることを感じ、市民の皆様のご理解に心から感謝申し上げます。

手話を覚えるのは難しいと思う人もいるかもしれませんが、語源を知ると、格段に覚えやすくなります。皆さんにも手話を使って「通じた!」という喜びを味わってほしいです。

手話は、相手を思いやる気持ちやおもてなしにもつながると思うので、皆さんも手話を使って楽しみながらコミュニケーションを図ってみてください。

聴覚障害者が安心して生活するために、手話が広まることを望んでいます。病院や市役所、銀行などで、簡単な手話ができると安心につながります。また、聴覚障害者は音声のみでの電話が難しいので、テレビ電話やオンラインなどを活用して、手話を通じた連絡が気軽に取れ合えると、さらに過ごしやすくなります。今後の活動として、色々な場所に積極的に出向き、市民の皆さんに楽しく手話を広めていきたいと思っております。



岡山県聴覚障害者福祉協会
玉野支部長 笹田 瞳 さん

手話のあいさつ

まずは基本的なあいさつをしてみましょう。

おは よう



こめかみ付近にあてた右こぶしを素早く下におろす。

こんにちは



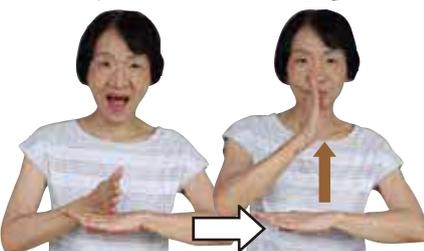
右手の人差し指と中指を眉間にあてる。

こん ばんは



両手のひらを前に向けて、両腕を目の前で交差させる。

ありが とう



右手を左手に軽くあてた後、顔の前に上げる。

すみま せん



右手の親指と人差し指で眉間をつまみ、右手で拝むようにする。

手話のポイント

- 1 表情
手指の動きに合わせて、「楽しい」「悲しい」「困った」などの表情をすると意味を伝えやすくなります。
- 2 口
手指や表情だけでなく、口元の動きも見て会話を読み取る人も多くいます。口をはっきり動かしましょう。
- 3 手指
正確に、相手にはっきり見えるように動かしましょう。